

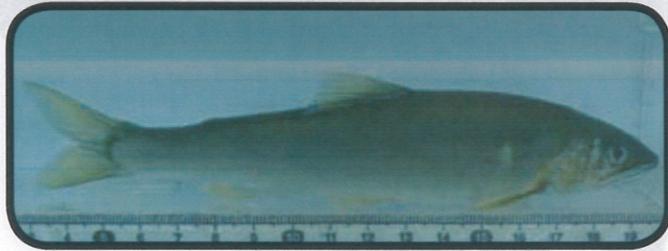
第15回 荒川流域再生シンポジウム



稚アユ標識作業：標識アユを放流することにより、どこまで上れるのか、上れない堰はあるのかを調べるための調査。上れない堰は管理者や関係者と協議しながら改善策を考える。



地域と河川生態系 再生の道筋を探る



テーマ①「川の生産力復活に向けて」
テーマ②「水質調査を活かす取り組み」

2010年度第2回 **みずかけ論**

市民による『公』とは？

生きものの“都合” 人の“都合”

2010年も荒川の秋ヶ瀬取水堰の魚道を過去2番目に多い79万尾のアユが溯上した。こうした自然の蘇生を地域再生に活かす取り組みが急務となっている。アユ溯上作戦、身近な川の水質調査活動から見てきた荒川水系の河川生態系の再生プロセスを市民、行政それぞれの立場から討論する。

2011年

日時 **2月13日(日)**

12:30 開場

会場 **日高市生涯学習センター 2F**

参加費／無料

この事業は(社)関東建設弘済会の助成を受けています

■主催 NPO法人 荒川流域ネットワーク



荒川流域ネットワークは、2008年から「荒川流域再生シンポジウム」を「みずかけ“サ”論」という名のオープンな議論を行う場として開催してきました。2010年は8月に第1回を開催し、この度第2回目を開催する運びとなりました。

今回のシンポジウムでは、荒川流域ネットワークのプロジェクトである荒川流域再生プロジェクトが進めてきた「菅間堰アユ溯上作戦」の2010年度の結果を報告するとともに、埼玉県が行っている水辺再生事業などの取り組みなど、河川生態系の復元や清流復活に向けての市民の役割、行政の役割、あるいは関係機関の役割について、「市民による「公」という新たな視点から実践的な議論を行っていきたくと考えております。荒川流域で活動されている多くの団体・個人の方および関係する機関の方のご参加をお願いいたします。



■主催
特定非営利活動法人 荒川流域ネットワーク

■共催団体

NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム／NPO 法人秩父の環境を考える会／NPO 法人熊谷の環境を考える連絡協議会／NPO 法人さやま環境市民ネットワーク／NPO 法人荒川の自然を守る会／鴻巣の環境を考える会／鶴ヶ島の自然を守る会／新河岸川水系水環境連絡会／埼玉県河川環境団体連絡協議会／認定NPO 法人ふさと東京を考える実行委員会／比企の川づくり協議会

■後援

埼玉県／国土交通省荒川上流河川事務所／国土交通省荒川下流河川事務所

■タイムスケジュール

12:30 受付開始

13:00 主催挨拶・来賓挨拶

13:10 テーマ①「川の生産力復活に向けて」

1. 2010年度アユ溯上調査の結果報告

報告者：金澤 光（埼玉県環境科学国際センター自然環境担当）

2. 埼玉県水辺再生100プラン「南小畔川での取り組み」

報告者：鈴木 勝浩（埼玉県川越県土整備事務所河川担当）

テーマ②「水質調査を生かす取り組み」

「EC 調査の意義について」

— 2010年度多摩川での水質調査事例からの提案—

報告者：渡邊 勇（霞川くらしの楽校会長・環境カウンセラー）

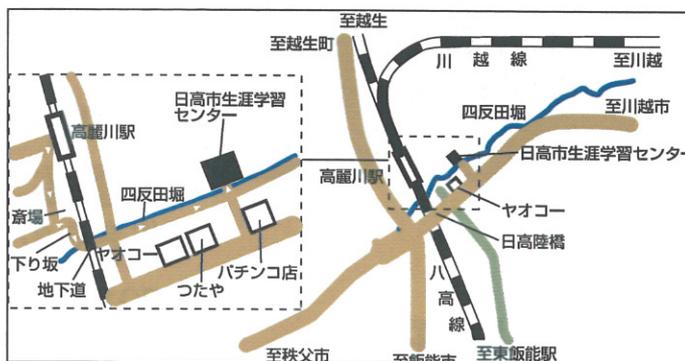
14:40 休憩

14:50 みずかけ“サ”論

市民による「公」とは？—生きものの“都合” 人の“都合”—

16:20 閉会の挨拶

16:30 終了



●電車を利用する場合

東武東上線を利用する場合は、川越駅で乗り換えてJR川越線で高麗川駅下車 西武線を利用する場合は、西武池袋線東飯能駅でJR八高線に乗り換えて高麗川駅下車（徒歩6分、当日高麗川駅から会場まで案内板を目印にお越し下さい。）

●車で来られる場合

東京方面から来られる場合、国道299号線に抜ける道路の「市役所入口」交差点の先を右折。秩父方面から来られる場合、川越市街地に向かう道路の日高陸橋を下った先を左折。

■問い合わせ TEL 049-285-6625 携帯 090-7804-5722
mail k_suzuki@pk2.so-net.ne.jp
鈴木勝行